

2022年度 予算のお知らせ

2021年度 決算 見込み

2021年度の決算は、収入35億7,432万円、支出26億3,058万円となり、収支差し引きで9億4,374万円の黒字となる見込みです。財政の健全化を示す経常収支でも3億6,971万円の黒字を見込んでいます。これは、前期高齢者納付金の減少が大きな要因となっています。しかし、一昨年の保険給付費はコロナ禍の影響を受け、受診控えにより減少傾向にあったものの、昨年より増加に転じています。また、保険料収入の4割近くを占める納付金（前期高齢者納付金、後期高齢者支援金等）も増加傾向を示しており、予断を許さない状況です。

2022年度 予算概要

2022年度の経常収入は、28億137万5千円、経常支出は、30億9,461万9千円となり、経常収支差し引きでは2億9,324万4千円の赤字予算となりました。高齢者医療制度など国へ納める納付金は9億6,161万7千円と見込まれています。納付金の負担は今後も増加すると推測されるため、準備金等の蓄えを保つ必要があります。

増加傾向が予測される医療費

2020年度減少傾向にあった医療費は、2021年度は増加傾向に転じています。2022年度はさらなる医療費の増加や、不測の高額医療が発生した場合を勘案し、保険給付費を前年度より約2億2,300万円増の17億801万6千円の予算としました。

皆さんの健康を守る事業を効率化

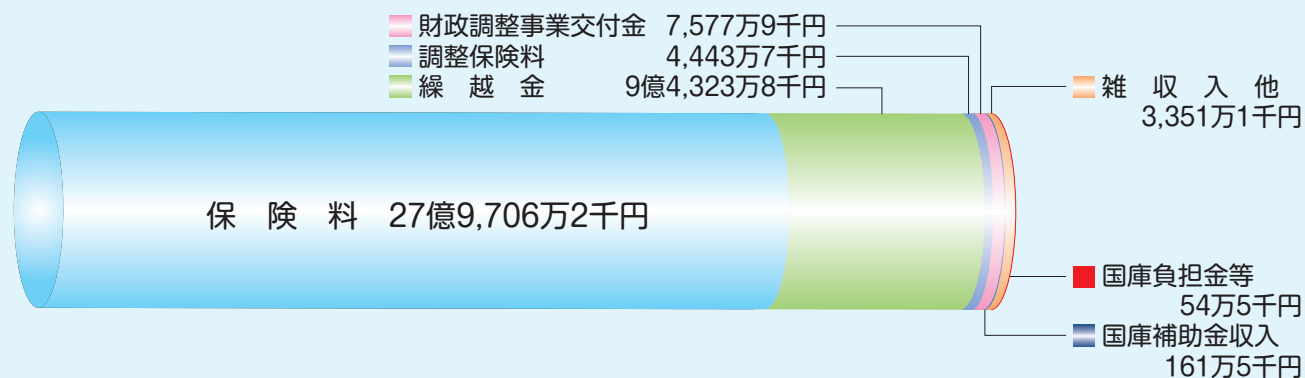
皆さんの健康増進をバックアップする保健事業費には3億1,746万2千円を充て、特定保健指導プログラムや重症化予防の保健指導、婦人科系がん検診の推進をより効率的に実施してまいります。

健康保険組合としては、引き続き一層の経費の削減および効果的な健康増進事業を実施してまいります。皆さんにおかれましては、保健事業をご活用いただき健康な身体づくりを目指していただくとともに、適正受診等、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

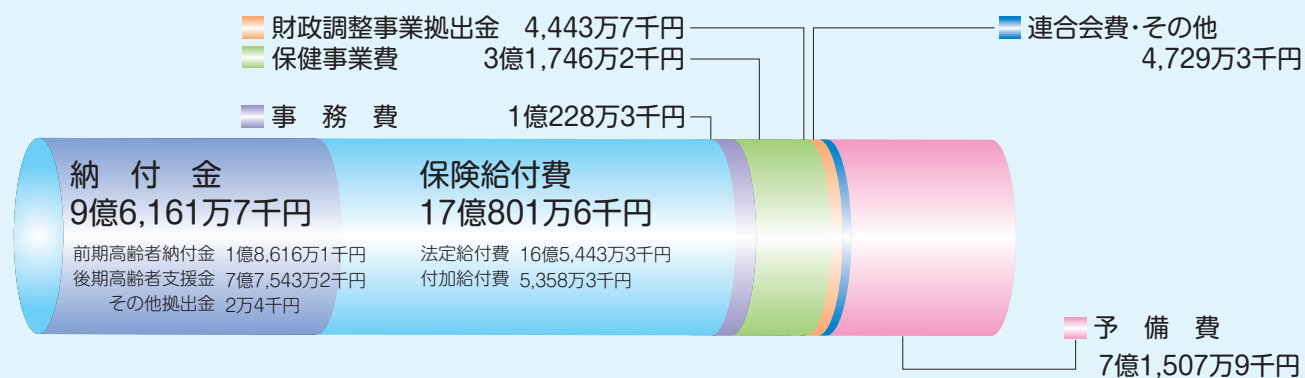
介護保険

保険料収入は5億3,237万7千円と見込んでいます。一方、介護納付金は4億5,695万9千円と見込んでおり、2021年度に一般勘定から受け入れた3,000万円の返還を含め、4,541万8千円の黒字予算となりました。しかし、年度の初期は納付金支払いに保険料収入が不足するため、一般勘定から4,000万円を繰り入れ月次の納付金の支払に充てます。

収入 38億9,618万7千円



支出 38億9,618万7千円



健康保険

予算総額 38億9,619万円
 経常収入 28億138万円
 経常支出 30億9,462万円
 経常収支 ▲2億9,324万円

予算基礎数値

被保険者数 3,976人
 男性 2,874人
 女性 1,102人

平均年齢 44.92歳
 男性 45.82歳
 女性 42.50歳

被扶養者数 4,936人

前期高齢者加入率 0.502288%

保険料率 (調整保険料率含む) 83.00/1000

(事業主 51/1000 被保険者 32/1000)

介護保険

予算基礎数値

介護保険第2号
 被保険者たる被保険者数 2,799人

介護保険料率
 (事業主・被保険者折半) 20.00/1000

予算の概要

(単位:千円)

収入	科目	予算額
	介護保険収入	532,377
	繰越金	59,315
	繰入金	1
	雑収入他	2
	一般勘定受入	40,000
	合計	631,695
支出	科目	予算額
	介護納付金	456,959
	還付金	1,000
	積立金	100
	一般勘定繰入	30,000
	雑支出	110
	予備費	143,526
	合計	631,695